

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

自治体名	香川県高松市
自治体の概要 主な特色 PR ポイント	日本で一番小さな県である香川県の県庁所在地・高松市は、北は瀬戸内海から南は徳島県境に至る、海・山・島など恵まれた自然を有する面積約 376 km²（東京 23 区の約 6 割）の広範な市域の中に、人口約 41 万人が住むまちです。 多島美を誇る波静かな瀬戸内海に面し、これまで、人々の暮らしや経済・文化など様々な面において、瀬戸内海との深いかかわりの中で、県都として、また、四国の中核管理都市として発展を続けてきた、海に開かれた都市です。気候は、年間を通して寒暖の差が小さく、降水量の少ないことが特色で、都市機能・水・緑が程よく調和し、豊かな生活空間を有する都市となっています。 高松市は四国内の各都市と鉄道（JR）や高速道路（高速バス）のネットワークによって結ばれており、四国の観光やビジネスの拠点として非常に便利なまちです。 高松駅周辺のサンポート地区では近年、大規模再開発が進行しており、2024 年 3 月に高松駅直結の商業施設「TAKAMATSU ORNE（高松オルネ）」が開業したのに続き、2025 年 2 月には、最大 1 万人を収容できる新しい香川県立アリーナが完成、同年 4 月には徳島文理大学の新キャンパスが高松駅横に移転しました。さらに 2027 年夏頃には、「マンダリン オリエンタル」の東京に続く国内 2 か所目となるホテル「マンダリン オリエンタル 瀬戸内ー高松」が開業予定で、瀬戸内の風景やアートなどの観光資源にも注目が集まっています。 讃岐うどんは市内のあらゆる場所でそれぞれこだわりのうどんを食べることができます【写真下左】。また、高松市は松盆栽の生産シェア 8 割を占める「盆栽のまち」でもあります【写真下右】。
アクセス方法 （参考経路）	【東京駅・品川駅】－東海道・山陽新幹線（約 3 時間 20 分）－【岡山駅】－JR 瀬戸大橋線（快速マリンライナー約 1 時間）－【高松駅】 【羽田空港】－JAL・ANA（約 80 分）－【高松空港】 【成田空港】－ジェットスター（約 90 分）－【高松空港】 【東京駅】－寝台特急サンライズ瀬戸（約 9 時間 30 分）－【高松駅】

連携自治体紹介シート兼ワークショップ体験プログラムシート

主な地域課題	●人口減少（流出）への対応 高松市の総人口は減少傾向にあり、社会経済活動の担い手減少や社会保障費の増大などへの対応が必須となっています。特に若年層（10～20代前半）が、進学や就職に伴い、県外へ流出する状況が顕著となっていることが大きな課題となっています。 ●離島の活性化 瀬戸内海に面する高松市の離島は、比較的アクセスも良く、瀬戸内国際芸術祭の開催等により注目が高まるという追い風もあります。一方、経済基盤が極めて弱く、高齢化も深刻なことから、今まで以上に多様な主体と連携しながら、離島地域における新たな経済循環を創出することが課題となっています。 ●脱炭素社会への転換 国全体の温室効果ガス削減に取り組む政策に呼応し、高松市は令和2年「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。脱炭素社会への転換に向け、市のポテンシャルを活かした持続可能で費用対効果の高い施策が求められています。
受入時期	～12月末
ワークショッププログラム内容 （右記のプログラムから、泊数に応じてご希望の内容を組み合わせて実施していただきます。）	[例]詳細については、ご希望の内容を伺いながら相談の上決定いたします。 ①市職員との意見交換 高松市の地域課題や、市が目指す方向性、官民共創について職員とディスカッションをし、市との連携、取組について検討します。（無料） ②市内の特色ある施設視察及び意見交換 産業振興・伝統工芸・子育て支援・観光等に関連する、市内の特色ある施設を視察するとともに、各キーパーソンとの意見交換を行います。（施設により無料または有料） ・高松丸亀町商店街（商店街再開発事例として全国から視察多数：無料【写真上】） ・中央卸売市場（開かれた市場の取組：無料） ・讃岐おもちゃ美術館（伝統工芸と子育て支援が融合した民間施設：有料） ・Powerico（パワリコ：西日本最大級のデータセンター：無料） ・やしまーる（源平合戦の舞台となった屋島山上にある、歴史と文化、自然を体感できる唯一無二の建築：一部有料【写真下】）など ③瀬戸内国際芸術祭 2025 瀬戸内の島々を主な舞台とする3年に1度の現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭 2025」が今年開催されます。アートが瀬戸内海地域に新たな価値を創出し、人の流れが変わるプロセスは、単なるイベントの枠を超え、地域活性化の好事例としても注目を集めています。会期が春（4月18日～5月25日）・夏（8月1日～8月31日）・秋（10月3日～11月9日）に分かれています。



連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

(鑑賞のみの場合：作品鑑賞パスポート¥4,500～5,500/人)
(芸術祭サポーター「こえび隊」ガイドツアーの場合：別途見積)

④特色あるコワーキングスペースの利用

高松港から20分～40分、紅白のストライプが特徴のフェリー「めおん」の船旅(写真右)で、有人離島の「女木島」「男木島」を訪れることができ、これらの島では、唯一無二のテレワーク体験が可能です(施設利用有料)。



男木島(おぎじま)には、かつての郵便局庁舎をリノベーションしたコワーキングスペース「鋤と本」があります【写真下左・中】。

女木島(めぎじま)では、ビーチ全体にWi-Fiを完備し、モバイルバッテリーやビーチチェアを貸し出す「ビーチオフィス女木島」プロジェクトが、島のビーチに面したゲストハウスやお店の連携で運営されています【写真下右】。

両島ともゲストハウスがあり、宿泊とテレワークの組み合わせも可能です。



また、高松市内には高松駅前や市役所近くの市街地を中心に、多くのコワーキングスペースがあり、業務に合わせてお選びいただけます。

中心市街地コワーキングスペース[例]

Setouchi-i-Base

<https://setouchiibase.jp/pub/facility#introduction>

co-ba takamatsu <https://co-ba.net/takamatsu/>

シェアラウンジ TSUTAYA BOOKSTORE TAKAMATSU ORNE

<https://www.sharelounge.jp/store/7035>

Regus オープンオフィス 高松

<https://www.regus-office.jp/openoffice/openoffice/takamatsu/>

主な対象事業者 特に指定なし

受入上限数 ②市内の特色ある施設視察及び意見交換について1グループ10～15名を上限とする施設があります。

未就学児の子どもの受入 【可・不可】
市内の一部の認可外保育施設で、未就学児の一時預かりサービスを行っています。
事前予約が必要で、空きを確約することはできませんので、ご了承ください。

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

事業者に期待すること	まずはワーケーションでの滞在を通じて、高松市のファンになっていただければ幸いです。 その上で、「高松市の課題に対してアイデア、提案をいただくこと」「事業者様の拠点（支店、支社、営業所、テレワーク等、形態は問いません）として検討いただくこと」等を期待しております。
留意事項	市内の移動に関して、市役所、高松駅、中心市街地（商店街）は徒歩圏内ですが、その他施設視察等では場所によってレンタカーが必要になる場合があります。高松空港から市街地まではリムジンバスがあります。有人離島の「女木島」「男木島」まではフェリーがあり、島内は徒歩移動となります。